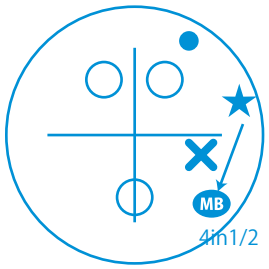
ボールの特性レポート
BALL REPORT

ボール名	投球者	センター
クルーズ・ヴァイオレット	徳江 和則	平和島スターボウル

RG	△RG	
2.530	0.042	● ピン　★ PAP　✕ CG　■ バランスホール



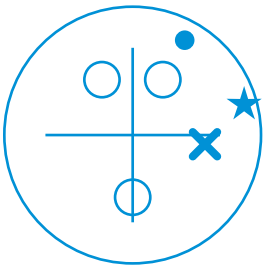
テストボール： クルーズ・ヴァイオレット

フレアーの幅：　インチ

PAPからピンとの距離：4-1/2 インチ

表面加工：
- ☑ 箱出し状態
- ☐ 加工
- ☐ ペーパー　番
- ☐ ポリッシュ

研磨剤：



比較対照ボール： ゼン

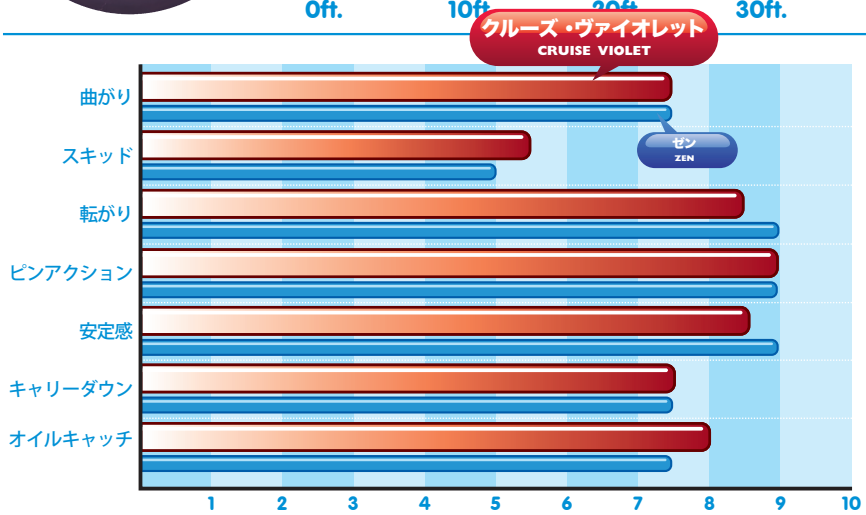
フレアーの幅：　インチ

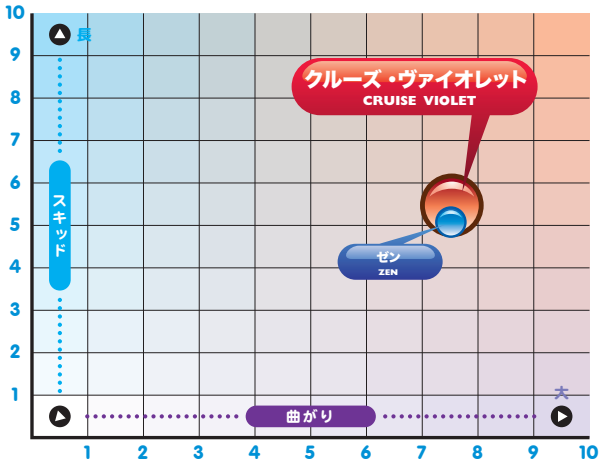
PAPからピンとの距離：4-1/2 インチ

表面加工：
- ☑ 箱出し状態
- ☐ 加工
- ☐ ペーパー　番
- ☐ ポリッシュ

研磨剤：

ヘビー
ミディアム
ライト
バフ





ボールの評価

生産拠点がサンアントニオからユタに変わることで、同じカバーストックでもパフォーマンスの出方は異なり、今までと同じコアとカバーストックの組み合わせでもリアクションが変わることの想像は難しくないことでしょう。今回発売するCRUISE VIOLETは900GLOBAL社の中でも最も強いS86領域のResponce、Activeな動きを目的としたカバーストックのPearlバージョンとEllipticon Asymmetricコアとの組み合わせで、900GLOBALの中でも最もHigh Performance領域でもあるTour Engineered 900 Seriesの一つとして発売です。
特徴的なのはS86という最も強いカバーとEllipticon Asymmetricコアとの強いもの同士の組み合わせでしょう。
カバーはS86でもResponce系の特にオイルゾーンを抜けてからのドライエリアで高い反応性の素材をPearl主体にして直進性を優先させています。そうすることで強いカバーでも走りを出し、強いコアの動きを余すことなく中盤から後半に一気に解放することを可能にしています。テスティングの段階で数人のテスターにボールが配布されましたが、すべてのタイプのボウラーに共通して「バックエンドがメチャクチャ切れる」という報告を受けたことです。私も詳細は知らされずテスティングしましたが、走りとキレに特化したボールと判断しました。このボールを投げて感じた独特な部分は2つ。S86カバーでもキャッチより走りを重視していることと、以前Continuumでこのコアは投球しましたが全くイメージが違っていることです。投球してコアの見当が全くつかないほどここまでイメージを覆されたことはありません。やはりコアはそのままでもカバーと生産拠点が変わることで全く違ったボールとして生まれ変わったのだと、投球すればその差は歴然だと実感するでしょう。コアの強さも力強い入射角としてあらわれ、新しい"CRUISE"のブランドとして多くの人に受け入れられるでしょう。

特記事項

楕円形コアの持つ大きなネジレ感はResponse系の走りを重視したカバーを纏うことで、バックエンドでエネルギーは一気に爆発します。これからCRUISEシリーズは奥の動きを基調とするブランドとして認知されるでしょう。